

VI. C 川と泉

…川 (potamos) は男性名詞、泉 (pēgē) は女性名詞

真水の水場はしばしば水浴する場所。泉はしばしば清水をとりに行かねばならない場所。

川はしばしば渡らねばならない場所で、また増水したり枯渇したりする。

(1) アケロオス (川) (Apollod. 108. 10-15, Bulf. 235-38)

ギリシアで最大の川

ディアネイラに求婚：様々な野獣の姿に変身して、しぶとく。

→文明化されていない性欲、その強壮さ

(2) イナコス (川) (Apollod. 2 巻全体, 特に 74. 4-11)

アルゴスの川。イオやペルセウスやヘラクレスを出した家系。

ダナオスの物語：ダナオスがアルゴスに来てこの地の王となった頃、ヘラとポセイドンが

この地を争っていた。イナコスがヘラに判定したので、ポセイドンが怒って

川を涸らす。ダナオスの娘たちは水汲みに出かける。

(特にアミュモーネーの話。また Bulf. 247 も)

(3) ダプネ (ニンフ) (Bulf. 40-44)

ペネイオス川の娘かラドン川の娘か。3つのヴァージョンあり。

①Phylarchos 版 (BC3c) レウキッポスが恋し、女装して近づくが、警戒した Apollon が乙女らに水浴を思いつかせたので、バテて殺されてしまう。

②Ovidius 版 (BC1c) 恋した Apollon に追いかけられ、父に頼んで変身し、Apollon の聖木にされる。

③Ovid 後に盛んになった Version

ラドン川にのまれたが、川は Apollon を慰めるために木を贈った。

(4) アレトウーサ (ニンフ) (Bulf. 87 末 5 - 89. 8, Ovid. 5. 576-, Pausanias 7. 23. 1, 8. 54. 3, 5. 7. 7) ←古いギリシアのソースがどれだけあるか不明

水浴している乙女に

アルペイオス川が恋し、海を越えて西に追ってゆく。シチリアのシュラクサのオルテュギア島で、

アレトウーサが泉に変身すると、水として合体した。

次回 冥界の神話

ネキュイア Apollod. 102. 5-103. 8

205 末 6-3

レーテー Apollod. 177 末 3 - 178. 2

Bulf. 109-10